



No.277 富士山演劇鑑賞会 会報



12月1日(木) ロゼシアター  
開場 18:00 開演 18:30 中ホール

◇ 他団体の例会日程 ◇

清水・静岡 12月6日(火) 18:30  
(清水リポート) 12月7日(水) 13:00

沼津・伊豆 12月4日(日) 13:30  
(三島市民文化会館)

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

雉き  
はじめて鳴く

—— 例えば彼女が教師じゃなかったら、あの恋愛はスタートしていたのだろうか。

もしも彼が大人だったら、あの恋は成就していたのだろうか

小さな囲いの中で形成される数百人のコミュニティ

彼らの目に映る世界の先に、実社会はつながっているのだろうか



スタッフ

作 / 横山卓也 (iaku)

演出 / 眞鍋卓嗣

美術 / 杉山 至

舞台監督 / 宮下 卓

照明 / 桜井真澄

上演時間

2 時間

(休憩なし)

〈あらすじ〉

とある県立高校。国語教諭の浦川麻由（演：若井なおみ）は担庄するクラスの舞原建（演：深堀啓太郎）の相談に乗っていた。健が所属するサッカー部顧問の戸倉治（演：宮川崇）と問題を共有し、モンスターペアレントの母（演：清水直子）からのケアに気を配る日々。そんな折、スクールカウンセラーの藤堂智絵（演：安藤みどり）が着任し、意気統合する。

一方、藤堂のもとにはサッカー部マネージャー奥野早織（演：滝祐里）がいの一番に訪れ、

「浦川先生と舞原くんが怪しい」と衝撃の告白をする…

〈タイトルについて〉

『雉はじめて鳴く（雉始雛）』は、古代中国で考案された季節を表す「七十二候」（二十四節気をさらに三つに分けたもの）のひとつで、1月15日～19日頃を指す。『雉はじめて鳴く』は「雄のキジが鳴き始める（求愛する）」という意味になる。（初演パンフレットより）

# 雉はじめて鳴く〈キャスト〉

吉水牧子 校長



山下裕子

石嶺総市 教頭



河内 浩

男



塩山誠司

女



天野真由美

舞原杏子  
健の母親



清水直子

戸倉 治 教員  
サッカー部顧問



宮川 崇



片山泰二 生徒  
サッカー部員



松本征樹

奥野早織 生徒  
サッカー部マネージャー



滝 祐里



舞原 健 生徒  
サッカー部員



深堀啓太郎



浦川麻由 教員  
サッカー部副顧問



若井なおみ



藤堂智恵  
スクールカウンセラー



安藤みどり

横山卓也 プロフィール

一九七七年生まれ。大阪府出身。劇作家、演出家、iak u代表。鋭い観察眼と綿密な取材を元に、人間や題材を多面的にとらえる作劇を心がけている。

他人の口論をエンタテインメントに仕上げるセリフ劇や、ある社会問題を架空の土地の文化や因習に置き換えて人間ドラマとして立ち上げる作品を発表している。「消耗しにくい演劇作品」を標榜し、全国各地で再演ツアーを精力的に実施。近年の作品に『逢いにいくの、雨だけ』(第二三回鶴屋南北戯曲賞ノミネート)、『あつい胸騒ぎ』がある。

日本劇作家協会会員 (関西支部長)

眞鍋卓嗣 プロフィール

一九七五年生まれ。東京都出身。

劇団俳優座文藝演出部所属。

劇団での主な演出作品に

『先生のオリザニン』(加藤剛主演)、

『海の凹凸』(作・詩森ろば)、

『首のないカマキリ』(作・横山卓也)、

『インコグニート』(作・ニック・ペイン、翻訳田中壮太郎)。

劇団外での活躍も増え名取事務所『象』(作・別役実)は

ロシア、ルーマニア巡演(二〇一八年)に成功

日本劇団協議会常務理事。日本演出者協会会員。

## キジ（雉または雉子）

日本の国鳥。また岡山、岩手の県鳥で、市区町村の自治体の鳥にも多く指定されている。ちなみに国鳥に指定されたのは一九四七年「雉も鳴かずば撃たれまい」等多くの諺もあり、弱者と強者の対比「多勢に無勢」の後に本来は「雉と鷹」が続く。また、親が子を思う気持ちを例えた「焼け野の雉子、夜の鶴」のように使われる一方、不吉な前触れを指す「朝雉が鳴くは晴れ、夜鳴くは地震の兆し」等もある。

## 児童相談所

通称「児相」。児童福祉法により都道府県、政令指定都市が設置を義務づけられている施設。

近年、中核都市や特別区等にも設置可能となり、全国に二一〇カ所を数える。虐待の通報や相談は「一八九」で最寄りの児童相談所につながり、その番号は「いちはやく」。児相のうち一三六カ所に一時保護所が併設されている。一時保護所の在所日数は原則二カ月以内。

## スクールカウンセラー

児童・生徒・学生の心のケアを行う専門家。保護者や教員の相談にも乗り、多くは臨床心理士の資格を持つ。

一九九五年文部省（現文科省）が導入





かも簡単にお話ししました。コロナ感染、夜間の車の運転を少し心配されていましたが「感染対策をし、マスクをして前を向いているだけだから」と話しました。一人お誘いできて、もう一人は次回から入るといふことになり、うれしかったです。

例会当日は、私たちのサークルは誘導員と受付の係をやりました。ロゼのやり方と少し勝手が違っていました。役員さんの説明で要領を得て、無事、仕事が出来ました。検温の際、入口で行列が出来ないように、3人で手分けをし、4:30頃から始めました。「こんにちは。検温させていただきます」「はい、大丈夫です」と数値を見せてあげました。37度以上の方は一人もいませんでした。「みんな、この日を待っていたんだらうなあ、体調調整して！」などとしみじみ思っていました。帰りに、お誘いした方が「楽しかったー！」と言ってくれたのが何よりうれしかったです。

クリア活動なくして鑑賞会の存続はない、と思う今日この頃です。コロナ禍にあっても自分の楽しみは灯は消したくないです。(かりがね) 思い返せば、運営サークル活動は半年以上前の昨年の11〜12月でした。普段以上に声掛けしようとして、友人、ご近所様、自分たちの所属しているテニスや合唱などのサークルにパンフレットなどを配りまくるに誘いました。その結果、2名の新しい仲間を増やすことができた上に、久しぶりの例会クリアを達成できたのは本当に嬉しかったです。：コロナで延期になってし

まったことはショックでしたが、8月27日のお芝居が本当に素晴らしいので、ショックも吹き飛んでしまいました。クリア活動はなかなかうまくいきませんが、結果や反応をあまり深く考えずに、とにかく「声掛け」をすることの大切さを学びました。ダメ元で、50人に声掛けして、1人入会してくれればラッキーというくらいの気持ちで、気楽にやればいいのではないのでしょうか？これからも、その気持ち忘れずに楽しく活動していきたいと思えます。ありがとうございます。(Cherry Hill)

運営サークル会に参加できたのは、確か去年の12月だったと思います。今回は以前会員だったけれど退会してしまった歌の好きな友人を絶対お誘いしようとして決めていました。首尾よく入会を決意してくれたのは良かったのですが、寸前で延期になってしまい申し訳なく思っていました。待った分、余計に「あゝ東京行進曲」を満喫してくれたようです。

実は「てだのふあ」も担当で、頭がごちゃごちゃです。(ルンレン) 公演を迎えるばかりの状態が延期になっていた作品だったので、無事に終わって良かった。当日も運営サークルの人たちと協力しながら楽しく活動できました。クリア活動もコロナ禍でなかなか声掛けづらいところがありますが、引き続きがんばりたいと思います。(だぼはぜ)

運営担当で入会がありませんでした。でも声掛けしてある方が定年後には入会してくれそうなので期待しています。

待っています。当日はパンフグッズ販売を担当しましたが、初めは声が出なかったのですが、足を止めてくれる人が購入してくれ、声が出るようになりました。延期になり、仲間の2人が仕事やコロナの関係で見るのができなくなり、他の人を誘って見たのですがダメで、残念でした。(エミの会)

運営担当サークルの集いで、私達の会は何かを話し合う。鑑賞会の良さを確認しあい勧誘の原動力となった。普段からリーフレットを持って声掛けをしているが、運営担当になったら、やらなきゃとスィッチが入った。事務局があと何名でクリアするとプッシュしてくれるのも大きい力です。クリアはみんなが一つになって勝ち取った成果です。コロナ禍であってもクリアできる自信は仲間と共有出来ます。この勢いを続けていきたいと思います。(彩)

今回は運営サークルになり、受付になった。友達は用事で来れなくて1人で参加した。今までは友達と一緒にだったので不安はなかったが、今回は1人なのでどうしようかと思いましたが、手伝ってくれましたので助かりました。役員さんが少ないんだと思いました。開演が5時だったので、早く帰れて良かったです。(レモン)

### 『てだのふあ』感想

最近の日本を見ていて辛くなるばかりなので、見ない、考えない、よいうにしてきました。今日のてだのふあは、そんな私にカツを入れたら良かったように思いました。人生を考える

上でもとても素晴らしい夜のひと時でした。

歌声が素晴らしい響きで、聞いていた私がワクワクしてくる。歌いながら演ずる素晴らしい十分堪能しました。舞台装置も裏にしたり表にしたり持ち去ったりと、さりげなく場面展開されて工夫がありました。

芙由子役の女の子は声もよ通って歌唱も上手くよかったです。ミュージカルだったので全員で歌う場面は特に皆さんのハーモニーがすばらしかったです。沖繩の戦争がテーマになって、その戦争で多くの人が犠牲になったことや生き残った人も心に傷を負ったということも改めて考えさせられました。現在も基地のことで苦痛を強いられている沖繩の人々を思うと自分の無力さを痛感しました。こういう作品と出会って本当に良かったです。ありがとうございます。

本日の平和とは？私たちは平和ボケ？？？かな！心の中にズッシリと何かが入ってきました。ニュースを見ても沖繩の問題はいつこうに前進しておらず、悲惨な過去の問題をどの様に解決したら良いのか政治の力に頼っていても：犠牲者の思いを考えご冥福を祈るばかりです。素晴らしい時間でした。そして、舞台上でストーリーをしっかりと理解でき、音量ゆたかな歌と響き渡る歌声と演技、客席にグングン伝わってきました。出演者の皆様すばらしかったです。ありがとうございます。

今日は富士山演劇鑑賞会に入会しました。日本は太平洋戦争で主に



ものはなに？」と舞台装置について声を発しました。確かに不思議な物体でした。そのことが二人の話題になった後、ホールいっぱい響きわたる歌声。あつという間にミュージカルの世界へ引き込まれていきました。一人の少女を通しての沖繩は、観終わった後ジワジワと語りかけてきました。日々の生活の中に戦争の落とした大きな痛みと影がどれほど深くくいこんでいるか。人によっては、それが一生を支配することになってしまいか。「沖繩復帰50年」新聞やテレビの報じる歴史上の出来事であると同時に、一人の人の上に今もなお生き続ける戦争の現実であることを知った。やさしい人々の姿が心をなごませてくれた。(トコちゃん)

「てだのふあ」の観劇をきっかけに久しぶりに灰谷さんの作品をいくつか読み返しました。その時の自分の気持ちもいろいろ思い出しました。今年は沖繩が本土復帰50年と言うけれど、問題は解決どころかますますひどくなっている状態です。「肝苦りさ」です。

でもお芝居は良かった。特にふうちゃんの元気がいいの感じが持ちは良かったです。(おとめぎ)戦後生まれの自分にとって、戦争は舞台や映画、書籍などで体感するしかない。それでも、自ら進んでそれをしようと思わなければ、全く考えたり感じたりしないのだからと思うと、それは恐ろしいことだ。今も、おぞましい戦いの中にある国のように、日本も過去に戦っていることを知ることは辛いけれど、知って

いなければならぬ。

登場人物が多くて、それぞれにストーリーがあり、舞台のストーリーと絡みながら進んでいく。そこに沖繩線の記憶、戦後の沖繩の人たちが辿ってきた辛い過去。そうだったんだらうなと一言で言ってしまったら申し訳ない事実。観ていて辛いことばかりだったが、ふうちゃんとお母さんのエネルギーッシュな生活を観ていて勇気をもらった。「てだのふあ」に集まってくる人たちは、ここでエネルギーをもらって、明日を生きているんだなと感じた。私にもそういう場所が欲しい。

気になったのは、植木鉢のお父さんの設定。なぜ、植木鉢？子役の演技力、歌唱力にブラボーでした。(ルンルン)

聞きとりやすく見て楽しいミュージカル作品。人々との交流、人への思いやり、家族の絆、郷土愛など内容もすばらしく舞台に引き込まれ楽しい時間でした。悲しい時苦しい時は上を見、月を眺めて過ごそうと思えます。

横浜鶴見の沖繩商店街で、店の前の縁台に腰掛け談笑していた風景を思い出して、「てだのふあ おきなわ亭」と同じように、沖繩を愛した人たちの心の安まる場所だったんだなあーと思いました。(ルフラン)音楽劇、とても楽しいです。見ごたえ、聞きごたえがありました。二役の方もあり、楽しく観劇できました。役者の皆さん、生き生きと演じて歌っており、やっぱり生の演劇にふれる事ができる鑑賞会は大事だなと思えました。(カナリア)

主人公のふうちゃんには、思いやりの配慮、自分が良いと思ったり知りたいたい事に対してひるまない強さを感じました。役者さんも良かったです。沖繩の事がてんこ盛りで、沖繩を知ってほしいという強い気持ちで伝わりました。沖繩戦は本当にひどかったようですね。観劇を通じて戦争の悲惨さを伝え続けていく事が大切だと思います。(杏)

### 運営サークル・クリア活動

「てだのふあ」の運営サークルの活動中に「あゝ東京行進曲」の上演がありました。とてもおもしろかったので、友人にその話をしながら富士山演劇鑑賞会のパンフレットを渡しました。入会には至りませんが、声掛けを続けようと思えます。(おとめぎ)

8月に延期になっていた「素劇あゝ東京行進曲」も担当サークルだった。半年で2回分の担当サークルを味わったので、頭がごちゃごちゃでした。「てだのふあ」でも1名お誘いできたし、今回クリアに貢献出来て良かったです。高齢な方なので、送り迎えが必要だけれど、何事にも前向きで舞台を楽しんでくれていて、お誘いして良かったと思えました。(ルンルン)演劇鑑賞会をよく理解してくれていたの、入会してくれるものと期待していましたが、夜の運転はダメ、昼間ならという一言の現実。残念です。皆で同じ目標に向かって進んだ事、パンフレット・Tシャツ等の販売とても楽しかったです。(カメラ)

今回の運営サークルに参加してマスキ越しの顔合わせ。イツツフォリーズについて調べてくれた方原作の灰谷さんについて教えて頂いた方、有難うございました。「人物相関図」を手作り、真っ白な紙に下書きしマジックで色付けし、うちのリーダーの手作りハイビスカスの折り紙が一段と華を添えました。ドキドキしながら作りしましたが、上手くできて満足です。当日は受付担当でした。一気に来るのでアツという間の時間でした。(あじさい2)

今回は受付でスタンプを押す作業を担当させて頂きました。ほとんどの方がそのページを出して下さり有難かったのですが、中にはシールを貼ることすらやっていたり持ってくる方や、シールを剥がすことを知らずセロテープ止めしている方もいらっしゃり、その場で貼ってからスタンプを押す人が5〜6名程おりました。また、チラシやアンケートも拒否する方もみうけられました。サークル会の中でその辺りを周知して頂けると有難いです。(オレンジ)年に一度の運営サークルに参加し、参加者の話を聞いたり、「人物相関図」のお手伝いをさせて頂きました。色々な裏話も聞け慣れないながらも楽しかったです。係は「誘導員」でした。その中で気づいた事ですが、会員の中には杖を使用さうな方もいましたが、ホールの上の方には手すりがあるので、下の方にはなく、あると安心し楽ではないかと思えました。(杏)

『あゝ東京行進曲』 運営サークル活動のまとめ

一月二十三日の予定だった、「あゝ東京行進曲」がやっと八月二十七日富士宮市民文化会館での実施できました。

運営担当サークルは、一回目を十一月十九日にスタートさせ11サークルと3未サークルがクリア目指して取り組みました。

一九八〇は、初めてお迎えする劇団です。文字通り一九八〇年に創立された劇団、そして『素劇』とはどんなお芝居なのかと期待が高まります。

劇団代表の柴田義之さんからのメッセージを読み、ヒモや箱を使ってどのよう繰り広げられるのか、また佐藤千夜子の生涯や時代背景についても調べ、懐かしい歌が、すべてアカペラで歌われること等々楽しさ満載。新鮮でした。

年末年始は何かと慌しいので、年内にクリアのめどをつけようと、目標を持ちより声掛けに励みました。今まで運営サークル会に代表だけが参加していたけれど、サークルの皆で話し合いをし、代表以外も全員参加しますといったサー

クルから早速2名の入会があり、さいさきの良いスタートを切りました。それにみんなも応え、担当3サークルから3名、担当以外からも5名の入会があり、年内にクリアまであと一人というところまでになりました。そして年が明け、担当サークルから続けて入会があり、十三名でクリアしました。

クリアで例会を迎えられると例会を待ち望んでいた矢先の延期でした。

役員、事務局でサークルに電話連絡、できる限りの対応をしました。

上演日の日程調整をし、ようやく8月27日に決まりました。土曜日になったこと、搬入にあまり時間がからないことから、富士宮市民文化会館で午後5時開演に決めました。運営担当の仕事も間が空いてしまったけれど、みんなの気持ちが一つになり、スムーズに運営できました。

クリア比率はかつてない高さで、この良い流れを次にすぐ繋げていきたいかったのが、途切れたことが惜しまれます。

サークル数	69
サークル増	0
サークル減	1
±	-1
会員総数	429
入会	13(3.1%)
退会	10(2.3%)
±	3
例会参加率	87.60%



運営担当サークル	エミの会	だぼはぜ	アンジュ	吉原工業	レモン
	YoungMoon	かりがね	さくらんぼ	Cherry Hill	茶色の小びん
S-1	まゆみ	ルンルン	日々是好日	オレンジ会	カメラア

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

第276例会「てだのふあ」例会は17のサークルと担当役員の2サークルの19サークルで7月5日の第1回から9月29日までの5回の活動を行いました。

「てだのふあ」はクリアしました。

本当に良かったです。

1回目は自己紹介と前回の感想や演劇について様々に話し合いました。

また、次回からの司会者や活動の中味についても話し合いました。

7月30日は劇団についてサークルの会員が調べて話していただきましたし、灰谷健次郎への思いを印刷していただいたのを読み合わせしました。「これは会報に載せてありますから再度お読みください」

8月19日20日にはシール作業を行い観劇への準備を整えました。この時までにクリアにあと1名まで迫っていましたのでもう少し知恵を出し合いましたよと話しました。

9月7日になってもまだクリアして



いませんでしたがその後入会がありクリアし、そのことを運営サークルに連絡してさらなる入会を期待しました。その結果、例会の当日になってさらに1名の入会がありました。このことは例会場の打ち合わせで報告をしました。が、会員の頑張りがこうした結果になったとおたがいに喜び合いました。また、まとめの会も参加者が多く充実した時間になりました。

サークル数	67
サークル増	1
サークル減	2
±	-1
会員総数	423
入会	10(2.4%)
退会	8(1.9%)
±	2
例会参加率	77.6%



運営担当サークル	杏	やまたのおろち	あじさい2	オパール	HAMA
	青い鳥	レモンのいれもん	カナリア	ル・フラン	富士
	ストロベリー	カメラア	ルンルン	おとめざ	*

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

# 次例会のおしらせ

No.278 例会

2023年 2月 4日(土)

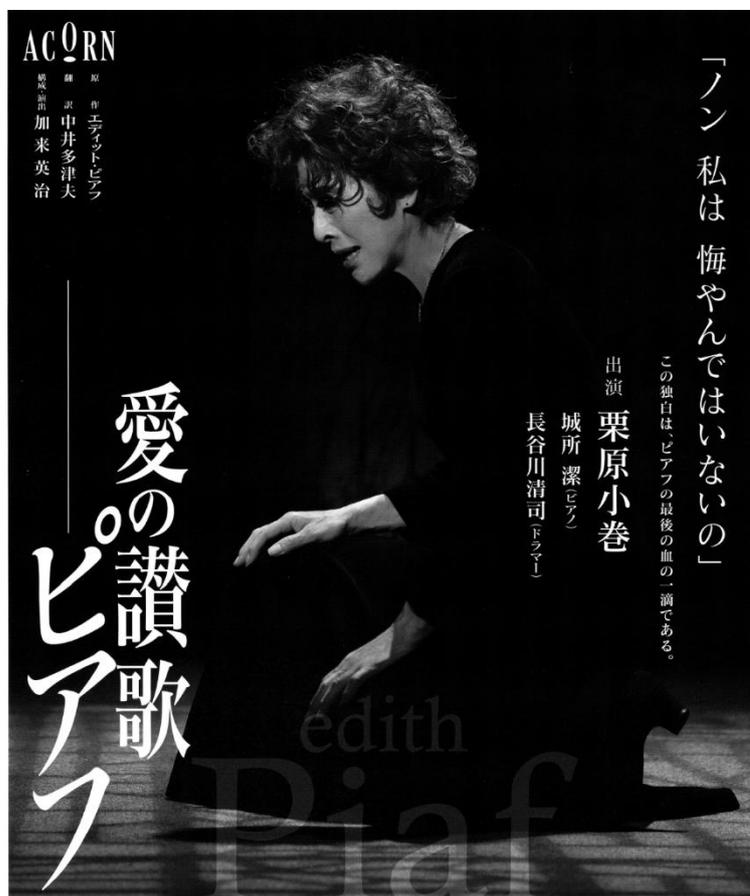
ロゼシアター中ホール

開場 18:00

開演 18:30

ACORN

## 愛の讃歌 ピアフ



原作 エディット・ピアフ

翻訳 中井多津夫

構成・演出 加来英治

出演 **栗原小巻**  
城所 潔(ピアノ)  
長谷川清司(ドラマー)

上演時間

1時間30分

「私の人生は、まもなくおわるでしょう。その時がきたら、  
いろいろな人が私の事を語り始めるにちがいない。  
でも、みんなの話があまりに真実と違っていたら、  
私がどんな人間だったのか、本当のことは誰にも解らなくなってしまう。  
時間のあるうちに、自分のことを話しておきたい」

ピアフは、この自伝を書き終え、まもなく亡くなった。

## 重要なお知らせ

・会費納入 12月会費 11月25日(金)～ 12月6日(火)  
1月会費 1月6日(金)～ 1月13日(金)

・退会締切 12月9日(金)

・シール配券

『愛の讃歌 ピアフ』 1月6日(金)～ 1月13日(金)

・サークル集会 12月16日(金) 13時30分 19時  
富士川ふれあいホール 2F講義室

23年度の例会作品について、希望制運営サークル  
今後の運営について 話し合います

年末年始休業

12月24日(土)～1月5日(木)

『愛の讃歌 ピアフ』担当サークル

- ・じゃがいも ・エミの会 ・だぼはぜ ・四季成苺 ・富士子 ・レモン
- ・YoungMoon ・ソレイユ2 ・水の樹 ・かりがね
- ・フレンズ ・茶色の小びん ・バラティエ ・スカイブルー ・まゆみ

★ 例会翌日は、事務局は休みです。

★ 毎月の会費納入は、基本的には  
月末の25日～月初め5日 です。

※例会等の関係で変更になることがあります。

★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当の  
サークルリーダーにお知らせします。

★ 退会する場合は、退会締切り日までに  
手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、  
事務局へ提出して下さい。

※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。

※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は  
認められません。ご了承ください。

## 富士山演劇鑑賞会

富士市元町 12-26 田中ビル 101号

TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687

Eメール fj\_simingekijou@ab.thn.ne.jp

http://web.thn.jp/ fj\_simingekijou/

ホームページ [ 富士山演劇鑑賞会 ] で

受付時間:13時～17時 (土・日・月・祝日・例会日の翌日は休み)

観劇のマナーを守って  
楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません